

# 秋田県町村会 町村長行政視察 研修報告

～カンボジア・タイ～

No.2

藤里町長 佐々木 文明

先月号では、プノンペン（カンボジア）での関係機関への訪問や視察について報告させていただきました。今月号では、その続きについて報告させていただきます。

## ◇11月7日（水）

8時30分にプノンペン国際空港に到着。今回は国内移動なので搭乗手続きはスムーズに行われ、10時15分発のプロペラ機で一路シエムリアップへ。10時55分シエムリアップ国際空港に到着し、専用バスでアンコールワット入場手続が終了したのが12時少し前。12時30分の昼食会では、在シエムリアップ日本領事事務所の實取直樹所長、アンコール日本人会の中尾健太会長、アンコール日本人会特別顧問の山口のり子さん、上智大学アジア人材養成研究センターの三輪悟特任教員が同

席し、シエムリアップを中心とした活動等について、寿司「竹園」で食事をしながら懇談いたしました。アンコール日本人会は、世界遺産アンコールワットのあたるカンボジアシエムリアップを拠点とした日本人会で、2008年2月に発足し、現在会員数が約100名。主な事業は、業種、滞在の形態の枠を超え、日本人間、そしてカンボジア人や様々な国籍の人々との温かな親睦・交流を図るために、名簿の作成、緊急連絡網の作成、各種情報の発信、年間行事として盆踊り、新年会等々の開催とのことでありました。

14時からアンコールワットの視察を实行。西側表参道を上智大学の学生たちが修復しており、現在表参道は通行止め、仮の浮橋で四方に巡らされたお堀を渡って中に入り見学しました。

アンコールワットは南北1.3km、東西1.5kmもの広大な敷地に建てられた、アンコール遺跡群の中でも最大規模を誇る宗教寺院で、1113年に即位したスールヤヴァルマン2世が自らを神格化するために、約30年をかけてこの大寺院を建造したものであります。

16時からはアンコールワットの北東部に位置するタブロームを見学。東西1km、南北600mの広大な敷地に三重の回廊があり、ジャヤヴァルマン7世が王位について最初に手掛けた寺院で、母の菩提を弔うために建立されたものです。巨大なガジュマルの一種である榕樹が遺跡に絡みつき、得も言われぬ不思議な空間を作り出しています。

アンジェリーナ・ジョリー主演映画

「トゥームレイダー」の撮影にも使われたところで、戦争による破壊が大きく、修復作業の只中でありました。少し気になったのが、遺跡内で稼働している重機が日本製であるばかりか、日本の企業の名称が入ったままだったので、ガイドさんにはこのことを伺うのをうっかり失念してしまいました。

心寺院がバイヨンで、慈悲深い眼差しで微笑む四面仏や躍動感あふれる壁画など、魅力あふれた大遺跡であります。

9時10分にホテルに戻り、移動準備を整えて10時に出発。10時40分にドンスワ―中学校を訪問しました。当初この村には小学校だけありましたが、1つの村に最低1校の中学校が必要とのことから、2013年に日本の企業の支援により建てられました。

生徒は周辺地域から集まって来るとのこと、就学率は90%以上ですが、4〜5%程度の生徒が中途退学してしまうとのこと。通学距離が一番遠い生徒は10kmほど。授業料は高校までは無料ですが、中途退学の理由としては①貧困・経済的、②入学時既に高齢、③いじめ等で学校が嫌になる。等のことでした。教室は5部屋あるうち4部屋使用。本来であれば7部屋必要であるため、7時から12時まで、12時から17時までの2交代制生徒総入れ替えで対応。先生の対応としては、日によつては1日中とか、午前中で終わりとか、午後だけとか、皆さんで調整会議をして決定しているとのことでありました。



三大遺跡の一つ「タブローム」にて

## ◇11月8日（木）

午前8時にアンコールトムを駆け足で視察。アンコールトムはアンコールワットの北側に位置し、3km四方の城壁に囲まれた当時最大級の都城で、城壁内には小遺跡や今も地元の人に利用されている仏教寺が数多く点在しています。その中

先生の資格は、大学卒業後資格を取得するとのこと、この際の成績により都会から順に配属となるようでした。

この学校には秋田県町村会から、ポールペン100本を寄贈させていただきました。

昼食後、13時30分にシエムリアップ国際空港に到着。出国手続き等を済ませて15時35分発でタイのスワンナプーム国際